

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	小野原・Y社学生マンション新築工事	階数	地上4F
建設地	大阪府箕面市小野原西六丁目	構造	RC造
用途地域	市街化区域	平均居住人員	68 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年4月 予定	評価の実施日	2022年5月25日
敷地面積	2,291 m ²	作成者	高松建設株式会社大阪本店 太田
建築面積	854 m ²	確認日	2022年5月25日
延床面積	2,671 m ²	確認者	高松建設株式会社大阪本店 太田栄治



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.6

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	A種断熱材の使用や内装材にF☆☆☆☆を使用し、住環境への配慮を行っている	その他 特になし
Q1 室内環境	カーテン、庇によりグレアを抑制 内装材にF☆☆☆☆を使用	Q3 室外環境(敷地内) 外構緑化指数が50%以上を満たしている
LR1 エネルギー	BEI=0.94	LR3 敷地外環境 光害対策を行っている
	LR2 資源・マテリアル 断熱材はA種断熱材を使用	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】	建物名称	小野原・Y社学生マンション新築工事
	建設地	大阪府箕面市小野原西六丁目
	用途/区分	集合住宅

【評価結果】	CASBEE 総合評価		B+
--------	----------------	--	-----------

①	CO2削減		3
---	-------	--	----------

②	みどり・ヒート アイランド対策		3
---	--------------------	--	----------

③	建物の断熱性		3
---	--------	--	----------

④	エネルギー削減		4
---	---------	--	----------

⑤	自然エネルギー直接利用		○
---	-------------	--	----------

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—	—
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—	—

エネルギー消費量の報告		対象外
-------------	--	-----

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.1	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	4.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	3
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.6	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

【その他】		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		